

2025年7月8日

木材業景況調査結果

第490回（令和7年6月分）

(一社)全国木材組合連合会

全国木材協同組合連合会

迅速！簡潔！明快！
全国モニターで調査する
唯一の全国版景況調査
この調査は日本木青連のご協力を得て、
行っています

6月は、販売量については、流通部門・製造部門とも変わらなかった。仕入量については、流通部門では変わらず、製造部門では減少した。また、販売価格、仕入価格については、流通部門・製造部門とも変わらなかった。

7月は、販売量については、流通部門・製造部門とも変わらずの見通し、仕入量については、流通部門では変わらず、製造部門では減少の見通しである。また、販売価格・仕入価格については、流通部門・製造部門とも保ち合いの見通しである。

3ヵ月後の相場予想は、米材については、流通部門では保ち合い、製造部門では強含みの見通し、南洋材については、流通部門・製造部門とも保ち合いの見通しである。また、北洋材（欧州材を含む）については、流通部門では保ち合い、製造部門では強含みの見通し、国産材については、流通部門では保ち合い、製造部門では弱含みの見通しである。また、建材は強含み予想である。

5月の新設住宅着工戸数は、前年同月比で3割超の大幅減となったが、中小ビルダーや工務店には数字以上に深刻な影響が出ていると考えられる。プレカット工場の稼働率には地域差や企業規模によるばらつきが見られるものの、全体として低調に推移している。また、工場間での激しい受注競争が続いており、加えてメーカーからの値上げ要請も強まっていることで、今後プレカット工場の採算環境はさらに厳しさを増すと見られる。木造の非住宅建築案件の引き合いは増加しており、今後は非住宅建築物への木造化推進が一層求められる。

景況調査

令和7年6月分集計表 () 内は実数

モニター数156 回答96 回収率62%

〔流通部門〕

当月の状況

販売量	増加23%(21)	変わらず51%(46)	減少26%(24)
仕入量	増加21%(19)	変わらず55%(50)	減少24%(22)
販売価格	上昇 2%(2)	変わらず96%(87)	下降 2%(2)
仕入価格	上昇 9%(8)	変わらず89%(81)	下降 2%(2)

来月の見通し

販売量	増加19%(17)	変わらず66%(59)	減少16%(14)
仕入量	増加17%(15)	変わらず69%(62)	減少14%(13)
販売価格	強含み 9%(8)	保ち合い89%(80)	弱含み 2%(2)
仕入価格	強含み13%(12)	保ち合い84%(76)	弱含み 2%(2)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	20%(12)	75%(45)	5%(3)
南洋材	13%(6)	83%(39)	4%(2)
北洋材(欧州材を含む)	26%(14)	72%(38)	2%(1)
国産材	20%(15)	72%(55)	8%(6)
建 材	30%(16)	69%(37)	2%(1)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	34%(18)	62%(33)	4%(2)

〔製造部門〕

モニター数133 回答数82 回収率62%

当月の状況

販売量	増加20%(16)	変わらず56%(45)	減少25%(20)
仕入量	増加15%(12)	変わらず53%(43)	減少32%(26)
販売価格	上昇 7%(6)	変わらず90%(73)	下降 2%(2)
仕入価格	上昇11%(9)	変わらず85%(69)	下降 4%(3)

来月の見通し

販売量	増加14%(11)	変わらず67%(54)	減少20%(16)
仕入量	増加10%(8)	変わらず62%(50)	減少28%(23)
販売価格	強含み 5%(4)	保ち合い91%(74)	弱含み 4%(3)
仕入価格	強含み11%(9)	保ち合い85%(69)	弱含み 4%(3)

3ヵ月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米 材	30%(9)	57%(17)	13%(4)
南洋材	11%(2)	72%(13)	17%(3)
北洋材(欧州材を含む)	24%(6)	64%(16)	12%(3)
国産材	13%(10)	57%(44)	30%(23)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヶ月以内	1ヶ月	1ヶ月以上
	42%(15)	47%(17)	11%(4)